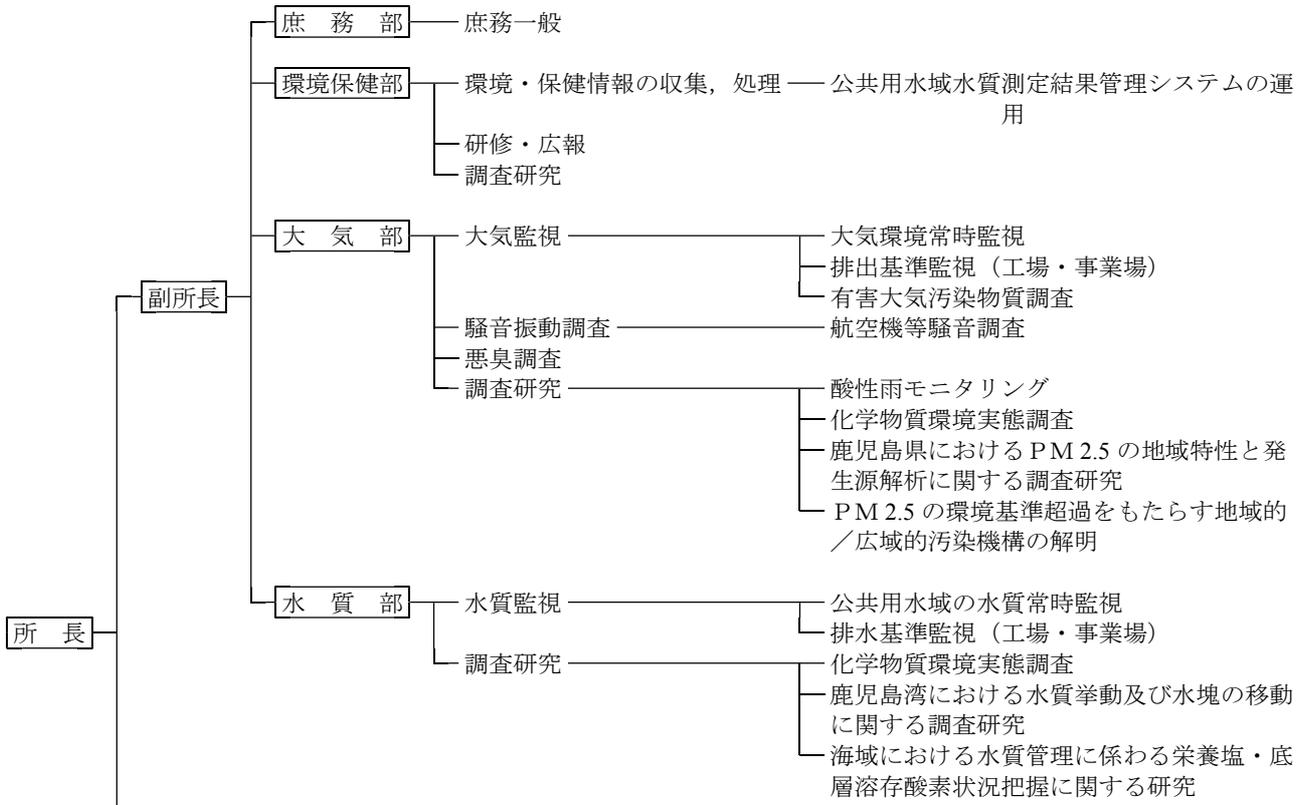


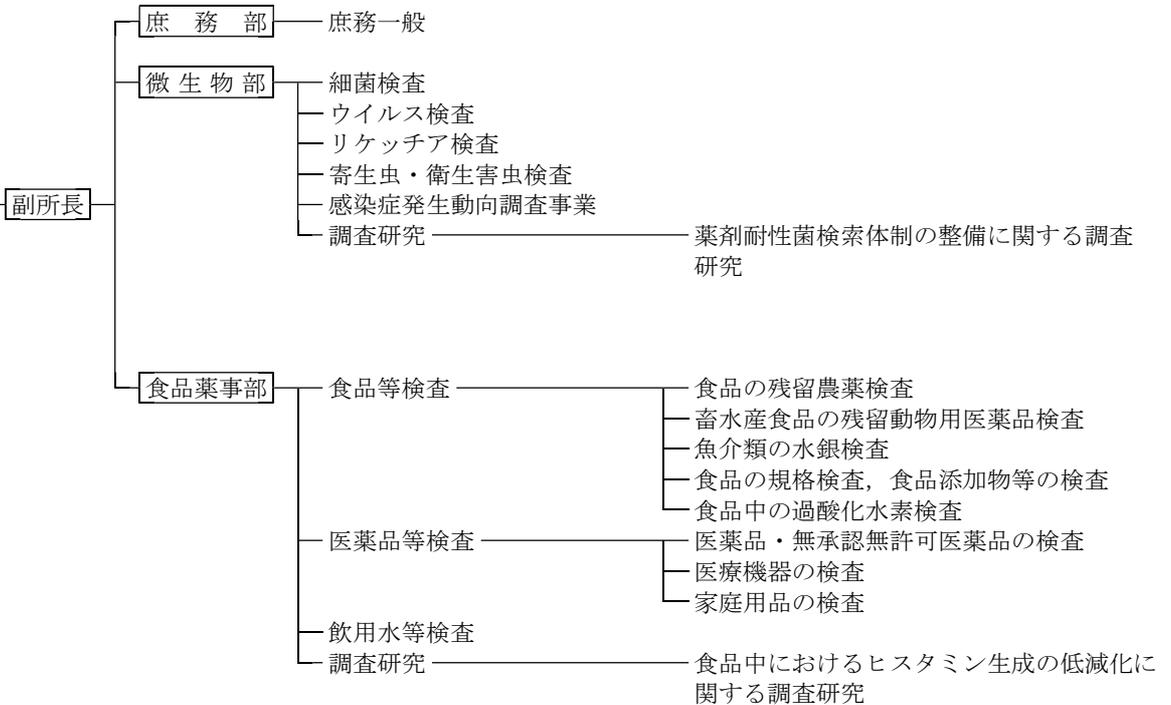
12 環境保健センター

12- (1) 環境保健センター組織

【城南庁舎】



【錦江庁舎】



## 12- (2) 調査・試験研究の概要

環境保健行政の円滑な推進を支援することを目的に、国及び他自治体の研究機関とも連携しながら調査研究に取り組んでいます。これらの結果は、所報に取りまとめ、公表するほか、学会等で発表しています。

### ① 酸性雨モニタリング（大気部）

本県における酸性雨の実態を把握するため、降水成分等調査を行うとともに、発生メカニズムなどについて調査研究を行っています。

### ② 化学物質環境実態調査（水質部、大気部）

有害化学物質による環境汚染を未然に防止するためには、過去に使用されたものも含めた化学物質の環境残留性の実態把握が必要であることから、環境省の委託を受け、大気、水質、底質、生物のモニタリングや暴露量等の調査を行っています。

### ③ 鹿児島県におけるPM2.5の地域特性と発生源解析に関する調査研究（大気部）

大気汚染防止法に基づく常時監視による質量濃度測定や成分分析に加え、高濃度が予測される時期に試料を採取、分析を行うとともに、気象条件、他の大気汚染物質等を加味した考察を行い、蓄積したデータを用いて本県のPM2.5の発生源寄与率を推定します。

### ④ PM2.5の環境基準超過をもたらす地域的／広域的汚染機構の解明（大気部）

地域的・地理的ファクターに着目したPM2.5汚染メカニズムの研究を行い、全国各地域における広域的／地域的高濃度メカニズムを解析することにより、短期的／長期的PM2.5環境基準達成への知見を得ることを目的とし、国立環境研究所や他の地方環境研究所と共同研究を行っています。

### ⑤ 鹿児島湾における水質挙動及び水塊の移動に関する調査研究（水質部）

閉鎖性水域の水質変動機構や水塊の移動を把握するために鹿児島湾における栄養塩類の溶出・沈降、移動等の影響の調査を行っています。

### ⑥ 海域における水質管理に係わる栄養塩・底層溶存酸素状況把握に関する研究（水質部）

全国の沿岸海域における栄養塩状態の把握や貧酸素水塊発生要因に関する知見の集積を行うため、海域の物質循環に係る項目及び底層DOについて国立環境研究所や他の地方環境研究所と共同研究を行っています。

### ⑦ 薬剤耐性菌検索体制の整備に関する調査研究（微生物部）

本県における薬剤耐性菌検査法の確立と検索体制の整備を行い、薬剤耐性菌による感染症発生時の行政検査に対応しています。また、医療機関で検出された薬剤耐性菌について、薬剤感受性試験及び遺伝子検査等による型別を実施し、県内における薬剤耐性菌の状況を把握しています。

### ⑧ 食品中におけるヒスタミン生成の低減化に関する調査研究（食品薬事部）

赤身魚に多く含有するヒスチジンから生成されるヒスタミンにより発症するアレルギー様食中毒は、保育園などの学校給食施設で多く発生しています。日本では食品中のヒスタミンの規制値はないが、国際的には規制値を設けている国もあるため、県内産水産食品を中心にヒスタミン含有量を調査しています。